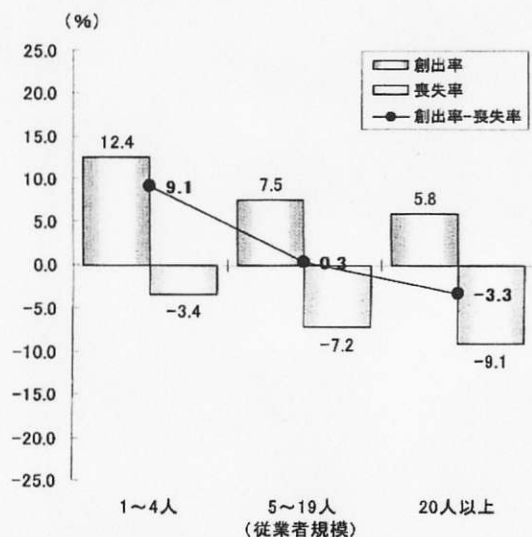


小企業の現状① 雇用創出率が高いなど雇用の苗床としての存在

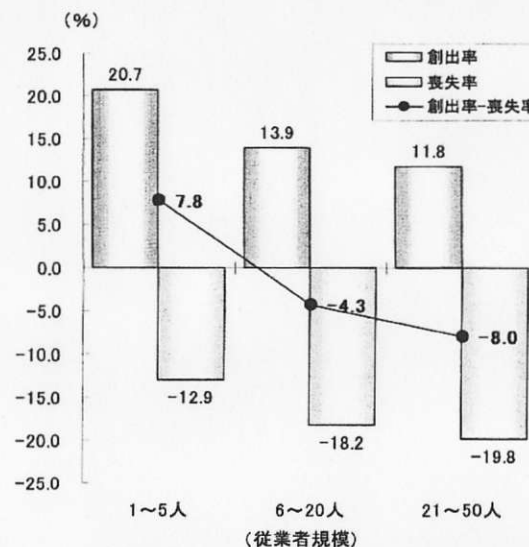
○従業員規模別に公庫利用先企業（新規開業企業を除く）の雇用創出率をみると、従業員規模が小さいほど雇用の創出率が高くなっています。小さい企業とはいえ、雇用の苗床としての重要な役割を果たしています。

▷ 従業員規模別の雇用創出率（公庫利用先）



- (注) 1 1999年と2003年の調査で接続可能な法人1,348社を存続企業としています。
 2 従業員規模は、期首（1999年）としています。
 3 創出率（喪失率）は、創出計（喪失計）/その従業員規模の期首（1999年）の総従業員数で求めています。
 4 新規開業企業は含まれていません。
 (資料) 当公庫「中小企業経営状況調査」（各年版）再編加工

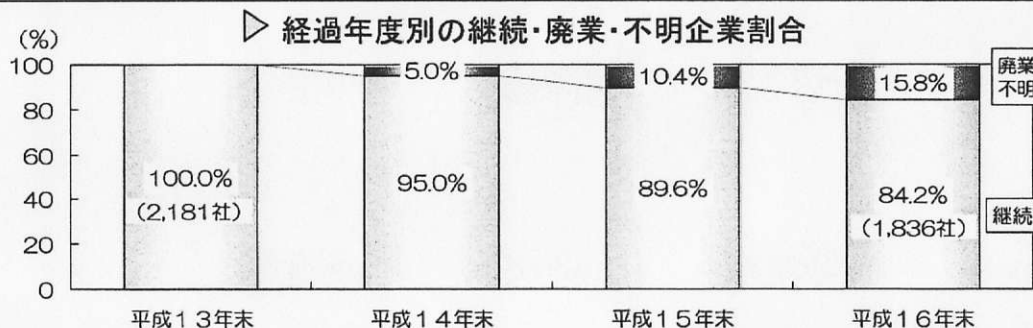
[参考]従業員規模別の雇用創出率（事業所統計）



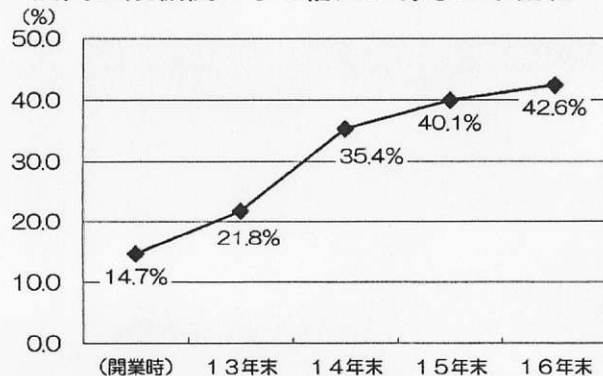
- (注) 1 1996年と2001年の調査で接続可能な事業所を存続事業所としています。
 2 従業員規模は、期首（1996年）としています。
 3 創出率（喪失率）は、創出計（喪失計）/その従業員規模の期首（1996年）の総従業員数で求めています。
 (資料) 中小企業庁「2003年版中小企業白書」のデータを一部当公庫で再編加工

〔補足〕「新規開業企業を対象とするパネル調査」概要（当公庫総合研究所）

- 当公庫の新規開業融資を受けた企業約2千社を追跡調査した結果をみると、3年経過後に約84%が営業を継続しています。
- 開業時に民間金融機関から借入がある企業の割合は14.7%でしたが、3年経過後には42.6%に増加するなど、民間の融資が拡大しています。

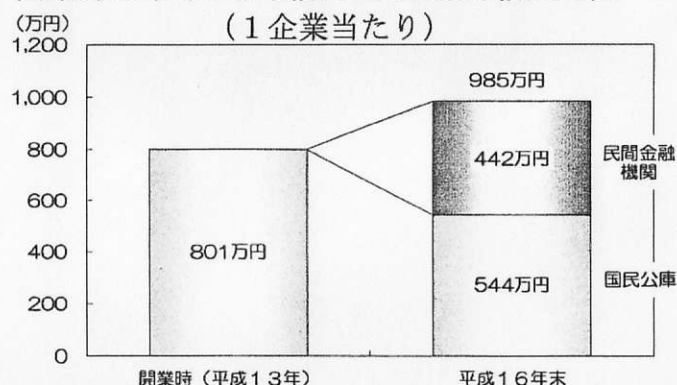


▷ 民間金融機関からの借入がある企業割合



(注) 平成13年に開業した企業であって、開業時と各年末時点において民間金融機関からの借入の有無が確認できた企業(789社)について集計。廃業企業を含みません。

▷ 開業時公庫のみから借入した企業の借入残高 (1企業当たり)



(注) 平成13年に開業した企業であって、開業時と平成16年末の2時点について借入残高が確認できた企業(876社)について集計。廃業企業を含みません。